



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月13日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
コード番号 2411 URL <https://www.gendai-a.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一
四半期報告書提出予定日 2023年10月31日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5308-9888

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,913	2.8	203	9.0	208	16.8	159	21.5
2023年3月期第2四半期	3,805	7.6	223	192.6	251	194.2	202	460.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 168百万円 (16.8%) 2023年3月期第2四半期 202百万円 (426.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	12.78	
2023年3月期第2四半期	14.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	5,716	4,236	74.1	330.99
2023年3月期	6,056	4,389	72.5	342.91

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,716百万円 2023年3月期 6,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		7.00		8.00	15.00
2024年3月期		9.00			
2024年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	6.0	500	24.5	500	18.8	400	8.2	32.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年5月19日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	12,300,000 株	2023年3月期	12,799,700 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	株	2023年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	12,455,214 株	2023年3月期2Q	13,612,200 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注状況	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は収束しつつあり、持ち直しの動きが見られます。一方で、エネルギーや原材料価格の高騰による消費者物価の上昇もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、昨年11月より導入された次世代パチスロ機において、本年4月に注目機種が導入されたこともあり、業界活性化への期待が高まる傾向にあります。

パチンコホール広告市場においては、次世代機導入による需要に加え、本年1月に警察庁より公表された「ぱちんこ営業における広告及び宣伝の取扱いについて」の通達によって、各都道府県においてパチンコホールの広告規制見直しの動きがあったこと等もあり、広告需要の回復が期待されたものの、今後も次世代機導入に必要な投資資金確保のため、広告費支出は抑制傾向にあります。

一方で、パチンコホール以外の広告分野については、フィットネス施設や住宅関連広告分野をはじめ、広告需要は増加基調にあります。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール広告分野の最大化に努めました。更には、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,913百万円（前年同期比2.8%増）、売上総利益は1,173百万円（同1.9%増）と前年を上回ったものの、人員の増加や、昨今のインフレに対応するための賃上げ実施等、人的資本への投資の結果、販売費及び一般管理費が41百万円増加したことから、営業利益は203百万円（同9.0%減）、前年同期において一過性の為替差益の計上があったことから、経常利益は前年同期比16.8%減となる208百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は159百万円（同21.5%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、本年4月に次世代パチスロ機の注目機種が導入されたこともあり、一時的に盛り上がりを見せたものの、5月以降の新台入替需要は一旦落ち着きました。また、次世代パチンコ機の市場における評価は不透明であり、広告需要への影響は限定的でした。依然として一部顧客においては、引き続き次世代機への設備投資資金確保のため、広告費抑制に努める動きもあり、今後の需要の傾向は不透明な状況にあります。

パチンコホール広告以外の分野の広告市場においては、主力のフィットネス施設や住宅関連分野の広告需要は、堅調に推移しました。

こうした環境下において、当社グループでは、主力のパチンコホール広告分野のほか、広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は3,867百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は322百万円（同3.9%減）となりました。

(不動産事業)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートが所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、パチンコホール跡地の売買仲介等に伴う手数料収益14百万円の計上がありました。

その結果、売上高は41百万円（前年同期比61.2%増）、セグメント利益は19百万円（同88.2%増）となりました。

(その他)

当第2四半期連結累計期間においては、キャンピングカーレンタル事業等による、売上高は4百万円（前年同期比31.4%減）、セグメント損失は2百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,716百万円となり、前連結会計年度末比340百万円の減少となりました。これは、主に自己株式の取得等により現金及び預金が196百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は1,479百万円となり、前連結会計年度末比187百万円の減少となりました。これは、主に借入金が143百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は4,236百万円となり、前連結会計年度末比152百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円を計上する一方で、株主還元として利益配当102百万円及び自己株式取得218百万円を実施したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益211百万円を計上したこと等により159百万円の収入（前年同期は164百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として預託金の返還176百万円があったこと等により106百万円の収入（前年同期は32百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として借入金の返済による支出が143百万円、自己株式の取得による支出が218百万円、前連結会計年度決算に係る期末配当金の支払102百万円があったことにより464百万円の支出（前年同期は545百万円の支出）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は当第2四半期連結累計期間において196百万円減少し、3,532百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間の業績は、計画を若干下回っているものの、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,735	3,538
受取手形、売掛金及び契約資産	988	1,018
有価証券	—	60
未収還付法人税等	38	—
その他	84	82
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,847	4,700
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	531
その他(純額)	81	76
有形固定資産合計	603	607
無形固定資産		
のれん	36	30
その他	74	69
無形固定資産合計	110	100
投資その他の資産	495	308
固定資産合計	1,209	1,016
資産合計	6,056	5,716
負債の部		
流動負債		
買掛金	555	519
1年内返済予定の長期借入金	287	287
未払法人税等	59	49
その他	165	170
流動負債合計	1,067	1,027
固定負債		
長期借入金	562	418
資産除去債務	8	8
その他	28	25
固定負債合計	599	452
負債合計	1,667	1,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	953	735
利益剰余金	3,332	3,389
株主資本合計	4,385	4,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	12
その他の包括利益累計額合計	3	12
純資産合計	4,389	4,236
負債純資産合計	6,056	5,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,805	3,913
売上原価	2,653	2,739
売上総利益	1,151	1,173
販売費及び一般管理費	928	970
営業利益	223	203
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	0	1
受取配当金	2	0
為替差益	22	2
有価証券売却益	—	4
その他	5	1
営業外収益合計	31	10
営業外費用		
支払利息	1	2
その他	1	2
営業外費用合計	3	4
経常利益	251	208
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	251	211
法人税、住民税及び事業税	47	43
法人税等調整額	1	9
法人税等合計	48	52
四半期純利益	202	159
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	202	159

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	202	159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	9
その他の包括利益合計	△0	9
四半期包括利益	202	168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202	168
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	251	211
減価償却費	19	25
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	6
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	1	2
為替差損益 (△は益)	△22	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	64	△37
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1	2
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45	△35
その他	△11	△3
小計	259	174
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△96	△54
法人税等の還付額	—	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	164	159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	—	△50
有形固定資産の取得による支出	△7	△21
無形固定資産の取得による支出	△24	△6
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	9
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△0
敷金及び保証金の回収による収入	—	0
預託金の返還による収入	—	176
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32	106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	—
長期借入金の返済による支出	△193	△143
自己株式の取得による支出	△97	△218
配当金の支払額	△54	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△545	△464
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△391	△196
現金及び現金同等物の期首残高	3,978	3,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,586	3,532

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2023年8月25日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月8日付で、自己株式499,700株の消却を実施しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ218百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,773	25	3,798	6	3,805	—	3,805
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,773	25	3,798	6	3,805	—	3,805
セグメント利益	336	10	346	1	347	△124	223

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△124百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△124百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,867	41	3,908	4	3,913	—	3,913
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,867	41	3,908	4	3,913	—	3,913
セグメント利益	322	19	342	△2	339	△136	203

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△136百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△136百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
インターネット	1,330	106.9
折込広告	1,305	91.1
販促物	533	111.2
クリエイティブ	265	111.7
媒体	121	110.9
その他	310	115.3
広告事業計	3,867	102.5
不動産事業	41	161.2
その他	4	68.6
合計	3,913	102.8